



歴史と文化が豊かに根付く 台東区の魅力を多くの人へ伝えたい

地方出身の私にとって、東京と聞いて真っ先にイメージするのが浅草や上野。小さな区でありながら、世界に名だたる観光名所が多く存在することに魅力を感じ、台東区で働きたいと考えました。

児童保育課に配属された後、区の魅力である歴史や文化を発信したいという思いから文化振興課を希望し、東京国立博物館への出向を経て今年度より同課です。主に担当しているのは文化施設などと連携して実施するイベント関連の業務。企画から下準備、各所との調整など業務は多岐にわたり、大変な時もありますが、チームで協力して作り上げることに大きな達成感があります。何より、イベントに参加した皆さんに満足していただけることがやりがいであり、原動力です。

文化や観光の分野はコロナ禍で大きな打撃を受けた分野でもあります。厳しい状況の中でも、できることから取り組もうと前を向いた経験は無駄ではなかったと感じています。今後も各施設と手を取り合い、台東区の魅力を広く発信していきたいです。



後輩へのメッセージ

話を聞いてもらいやすい、温かい雰囲気職場です。私も仕事で困った時は一人で抱え込まず、上司や同僚に相談しています。何気なく歩いているだけでも随所に歴史と文化を感じられる台東区。そんなワクワクするまちの発展、そこに暮らす区民の皆さんの生活の発展に、ぜひ一緒に取り組みましょう！



Time Schedule

8:30 始業

スケジュール確認とメールチェック。週末は仕事を完全OFFにするタイプなので、週始めの月曜日は特に念入りに確認します。



10:00

打ち合わせ

文化施設など事業者との打ち合わせを実施。案件によっては対面ではなくメールで完結するケースもあります。

12:00

昼休み

外で食べるものがほとんど。お気に入り居酒屋のランチ。同僚と行く時もあれば一人で行く時も。



13:00

イベントの実施

イベントがある場合は現場へ出向き、実施に伴う様々な業務をこなします。

17:15

業務終了

イベント終了後の整理などを行い、業務を終えます。



利用する区民の気持ちを大切に。 より良い施設の充実に尽力

大学では都市計画を学んでいましたが、現在の課に配属された当初は、使われている専門用語もまったくわからない状態でした。そこで自分の担当ではない会議に積極的に参加するなどして、様々なケースを学ぼうと心がけてきました。徐々に設計の楽しさに自覚め、初めて自分の設計した建物が新築で完成した時はとてもうれしかったです。図面で描いたものが実際に形になることで新たな発見もあり、大きな経験となりました。

私たちは主管課から要望を聞き取り、それを受けて設計の提案、積算などをします。なかには叶えるのが難しい要望もありますが「できません」の一言で片付けるのではなく、少しでも可能なことはないか試行錯誤し、できる限り要望を取り入れた提案ができるよう努力しています。また、誰のための施設であるのかを忘れないことも大切です。今、小学校の設計に関わっていますが、大人が意見を交わしながら造るなかで、実際に使う子供たちの気持ち、感覚をしっかりと心に置いて取り組んでいきたいです。



後輩へのメッセージ

私自身、先輩方に丁寧に教えてもらいながら、少しずつ専門的なことを学んできました。壁にぶつかっても、周囲がサポートしてくれる体制が整っているので安心して下さい。建築職においても女性職員が増えていきますし、専門職は課を超えての人のつながりが強いので、心強い環境で働けるとと思います！



Time Schedule

8:30 始業

メールチェック。その日の「やることリスト」を確認します。

9:00-12:00

打ち合わせ、デスクワーク

設計委託打ち合わせを行った後、発注用の図面作成、積算、発注に伴う書類の作成といったデスクワークを行います。

12:00

昼休み

基本的には手作りのお弁当を持参して食べています。時々、同期とランチへ行っておしゃべりを楽しむことも。



13:00-17:15

現場調査・現場での打ち合わせ、デスクワーク

工事中の現場に出向いて現地確認、打ち合わせなどを行います。職場へ戻った後は工事業者からの提出書類の確認、決裁などのデスクワーク。打ち合わせのための資料作りなども。



17:15

業務終了

翌日のスケジュール、やることリストを確認したら業務は終了。